

伝え続けよう、 ふくしまの “美味しい”と“信頼”を

2014年3月12日(水)

▶開場 13:00 ▶開演 13:30 (終了予定16:30)

▶会場 ホテル福島グリーンパレス
2F「瑞光の間」(福島市太田町13番53号)

入場無料
定員200名

3・11以降、福島大学との産官学連携でスタートした私たち食の安全・農業再生プロジェクトは、農産物の安全性を生産から販売まで保証するシステムの構築をしてきました。今回のシンポジウムでは、それらを前提に「福島の美味しさをどう伝えるか」について共に考えたいと思います。

第1部

『和食・世界遺産登録と日本酒、 ふくしまから世界へ!』

大七酒造株式会社
代表取締役社長 太田 英晴 氏



〈プロフィール〉

太田英晴(おた ひではる)

昭和35年 福島県二本松市生まれ(53歳)
福島高等学校卒業
東京大学法学部卒業

昭和60年 大七酒造株式会社に入社
平成9年より代表取締役社長(十代目)
福島県酒造組合二本松支部・支部長
二本松商工会議所常議員

今や日本を代表する日本酒の蔵元として注目され、海外でも高い評価を獲得している大七酒造。江戸時代からの伝統的な醸造法である「生酛造り」を極め、至高の日本酒を求めてやまない姿勢は、世界の著名なソムリエ達からも大なる称賛を浴びています。

「和食の世界遺産登録」がなった今、海外にも積極的に進出している大七酒造のブランド戦略を通して「福島の食の未来」を共に考えます。



第2部：活動報告

『特色ある福島農業・加工産業を目指して』
『信頼農場GAPの現状とオープンデータ事業』

お問い合わせ・お申し込み

事務局：「いちいお客様相談室」内

以下のいずれかの方法で、「お名前」「参加人数」「お電話番号」を明記のうえお申し込みください。

● TEL: **0120-093-171** (平日9:00~17:30)

● FAX: **024-594-1137**

※席に限りがございますので、定員になり次第締め切らせていただきます。あらかじめご了承ください。



第3部：パネルディスカッション

『食の安全と美味しい農産物を目指して!』



※駐車場はご利用いただけますが(無料)、数に限りがございます。あらかじめご了承ください。